

2025 年度地域連携推進会議議事録

1. 日 時：2025年5月24日（土）10時30分～12時00分
2. 場 所：田無公民館 視聴覚室（西東京市南町五丁目6番11号）
3. 出席者：39名

【ご来賓・関係団体 3名】

一般社団法人シニアと家族の未来サポート A 様
トキタ行政書士事務所 B 様
社会福祉法人ウーノ 理事長 C 様

【地域連携推進委員（地域関係者）2名】

西東京市障がい福祉を進める会 会長 D 様
西東京市手をつなぐ親の会 会長 E 様

【ご利用者 2名】

F 様（緑町マリーナ）、G 様（下保谷マリーナ）

【地域連携推進委員（ご家族） 20名】

H 様（ご両親）、I 様、J 様、K 様、L 様、M 様、G 様、N 様、
O 様（ご両親）、P 様（ご両親）、Q 様、R 様、S 様、T 様、U 様、
V 様、W 様

【法人関係者 12名】

理事長：角田勇
監事：X 様（退任）、Y 様（新任）
第三者委員：Z 様、AA 様
正会員：AB 様、AC 様
職員：AD、AE、AF、AG、AH

1. 参加者ご紹介
司会進行の AG より参加者のご紹介
2. 理事長より
理事長角田よりご挨拶
3. 議長選出
議長の選任方法を議場に諮ったところ、満場一致をもって、AH を議長に選出
4. 議事録署名人の選出
本総会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ、満場一致をもって、次の者を選出
理事長 角田 勇
正会員 AD
5. 議案審議
第1号議案 2024 年度事業報告及び決算報告
AD より業績面、運営面、感染症・災害対策、地域とのつながりなどについて説明（下記、一部抜粋）

・業績面では下保谷の 365 日体制の開始による増収があったものの、修繕費用等を計上したために 390 万円の黒字にとどまりました。

・情報の共有を大切にすべく、週一回の施設長会議と月に一回の各ユニットでのスタッフ会議を開催。参加者が徐々に増え、意見交換の場として活用できるようになりました。

・原則週 1 回、各ユニットに看護師に訪問してもらい、体調の観察と血圧等の測定を行っていただいています。専門的な視点でのアドバイスをもらい、安心にもつながっています。

・それぞれのユニットで、お誕生日会、流しそうめん、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、新年会など季節の行事を楽しみました。

・3 年ぶりにいこいの森公園でバーベキューを行いました。利用者やご家族、スタッフ総勢 70 名の方が参加してくださいました。バーベキューの後は輪投げなどのゲームをして過ごしました。

・1 月には保護者会から名称を変更し、地域連携推進会議を開催しました。ご家族との

交流も兼ねており、遠方のご家族には Zoom で参加いただき、今年度の現状の報告をさせていただきます。

- ・スタッフ研修は9月と3月に行いました。対面と Zoom の両方を活用し、大勢のスタッフが参加することができました。内容は虐待防止、災害時の初動、利用者支援などです。日本社会事業大学の AM 先生、防災アドバイザーの AN さんに講師をお願いしました。

- ・移動支援は、感染症にも留意しつつ、マスク着用の場面は公共交通機関のみとし、暑さによる体調不良にも配慮しました。グループホームを利用されていない、ガイドヘルプマリナー利用者の情報や支援の共有が課題です。

- ・2024 年度より感染対策委員会が義務化されました。研修や訓練について話し合い議事録を全スタッフに周知しました。

- ・5 月には防災館での防災体験、11 月～12 月にかけて各ユニットで避難訓練を行っています。また、10 月には災害用伝言ダイヤルの体験もしました。

- ・「西東京市障がい者福祉をすすめる会」会員として活動に参加しました。

- ・「西東京市障がい者（児）とスポーツを楽しむつどい」「つなぐみんなの笑顔」には利用者さんと一緒に参加しました。

- ・より透明性のある会計処理を目指し、グループホームでの実費精算分のレシート公開を行いました。ご家族にお声掛けし、2 組のご家族が領収書等の資料を確認してくださいました。

第2号議案 2025 年度事業計画（案）及び活動予算（案）

角田理事長より、運営体制、連携・情報交換、余暇支援の充実と地域のつながり、安全対策と自然災害対策、新規グループホーム開設などについて説明（下記、一部抜粋）

- ・グループホームにおいては重度化、高齢化に対応できるよう、引き続き 訪問看護ステーションと連携して入居者の健康管理を行っていきます。

- ・緑町マリナー、下保谷マリナー、北町マリナーでは昨年度同様に可能な限り夜間でも複数での支援体制を配置していきます。

- ・会計面や運営面においては業務の効率化と人手不足の緩和を目的にソフトウェアの導入・検討をしていきます。

- ・引き続き、常勤職員の年間休日 120 日を目指していきます。

- ・年に2回のスタッフ全体研修をより充実していきます。内部研修では外部講師を招いて、お互いの支援のあり方を確かめ合い、学び合う機会にします。

- ・重度化・高齢化に対応できるように外部研修にも積極的に参加し、支援の質的な向上を目指します。

- ・今年度より、ご家族の皆さまにも地域連携推進委員としてご協力をいただいております。個別面談の際には、これまで通りユニットへご訪問いただき、入居者のご様子をご確認いただくとともに、運営状況についてもご報告・ご相談させていただきます。

- ・推進委員の皆さまには、ユニット訪問日などを通じて、各ユニットで開催される季節行事にもご参加いただく予定です。たとえば、北町では「夏まつり」緑町では「流しそめん」下保谷では「餅つき」など、地域や入居者の皆さんと一体となったイベントを予定しております。

- ・利用者の就労先や関係福祉サービス事業所などとも積極的に連携を図ってまいります。現場に直接足を運び、作業所等との情報交換を行いながら、BCP（業務継続計画）や利用者一人ひとりのニーズに応じた支援の充実を目指してまいります。

- ・今年度も、運営の透明性を確保するという観点から、実費精算に関わるすべてのレシートについて公開いたします。入居者の皆さまやご家族、関係者の皆さまに安心していただけるよう、金銭の管理においても開かれた姿勢を大切にまいります。

- ・週末の余暇支援を大切にしていきます。ガイドヘルプマリナー利用者の方も出来る限り移動支援にお誘いします。

- ・地域でのイベントや行事にも積極的に参加し繋がりを大事にしていきます。

- ・秋には、入居者やご家族の皆さま、ガイドヘルプマリナーの利用者との交流も兼ねた「バーベキュー大会」を企画しております。公園の中で楽しいひとときを過ごせるよう、これから準備を進めていきます。

- ・大地震発生時の対応について、常日頃から、どこに避難したらよいのか。どのような行動をとればよいのか。昨年同様、防災アドバイザーとも連携し、スタッフともよく話し合っていきます。

- ・市とも連携し万が一の時には福祉避難所としての役割も果たしていきたいと思えます。そして皆さんの安全面を重視した対応を図って行きます。防災訓練も消防署と連携して行います。

- ・消防機器が正常に作動しているかどうかの点検を6か月に1度チェックします。
- ・新たに検討している都営住宅内グループホームについては先日、東京都・西東京市から活用に向けての承諾を頂きました。あとは自治会への説明やリフォームを経てスムーズに開設できるように検討していきたいと考えております。

第3号議案 監事選任

AI 監事が本総会をもって監事を辞任されるので、議長は後任の監事として理事会にて推薦した候補者名を読み上げ、その可否を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。被選任者は就任を承諾した。

監事就任 AJ

第4号議案 定款の変更

角田理事長より、副理事長の規定を削除する定款変更案について説明があり、これを議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

6. 花束贈呈および一言
 - ・AK 前副理事長、AL 前監事へ感謝と労いの花束贈呈。
7. ユニットごとの懇親・動画上映
 - ・動画「マリーナの冬休み」を鑑賞。
8. 参加者からのことば（一部抜粋）
 - ・デジタル化と情報共有を進めてほしい（地域連携推進委員）
 - ・家賃の高騰が深刻化しており、マリーナの水準は助かっている（地域連携推進委員）
 - ・ユニットでの料理教室を楽しみにしているので、今後も続けてほしい（地域連携推進委員）
 - ・利用者高齢化への対応をお願いしたい（地域連携推進委員）
 - ・いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします（利用者）
 - ・都営住宅の活用など、職員が入替わった新生マリーナに益々期待している（理事）
 - ・福祉の人材不足が深刻化しているが、数より質を重視すべきではないか（地域連携推進員）

その他、権利擁護センターあんしん西東京が行う成年後見制度に関する事業に関する説明もいただいた。
9. 閉会

以上、2025 年度地域連携推進会議の議事録とする。